

かけはし

発行：日本共産党橋本市委員会
住所：橋本市御幸辻167-1
電話：32-9243

(県政の防災問題、公共事業)

県議団 高田由一

安倍内閣の暴走政治がすすむなかで和歌山県政でも「凍結」されていた大型公共事業の復活がすすめられようとしていることは大きな問題です。仁坂知事が推進を表明した紀淡連絡道路はその最たるもので、橋長4000m、事業費は1兆円を軽くこえると言われており、1m1億円と批判されている東京外環道路をも上回っています。この事業は県が事業主体となるものではありませんが、周辺費用の負担も大きく、何よりも全国でムダな公共事業と批判されている海峡横断道路(東京湾口、伊勢湾口、豊予海峡など)の一環をなすものであり「ムダな事業より安全、安心のための公共事業」を求める国民の声とはまっ向から対立するものです。



地域に応じてきめ細かく、命を守るための防災対策こそ、求められています。この間、紀伊半島大水害も経験し、ソフト面、ハード面とも一定の前進が図られましたが、地震・津波対策では住宅の耐震補強がまだまだ遅れており、住宅耐震化率は70%で、未耐震の住宅は11万5千戸にのぼります(2008年)。東日本大震災と異なり、震度6強が各地で予測されている南海トラフの巨大地震に備えるには抜本的な対策の拡充が求められています。また津波避難困難地域での避難ビルや住宅の高台移転などが必要でありこの点も重要です。水害対策でも河川の堤防強化や改修、ダムへの不安に応える県政でなく



てはなりません。「国土強靱化」の名の下にムダな事業をしている余裕はありません。

議会こぼれ話

市議会議員の辞職などにより3月議会は18人の議員で行われます。2人以上で会派を組むことができますが、辞職などにより会派に属さない議員が4人になると思っていたらそのうちの2人が会派を組み、元の共産党の会派室がそのまま会派に属さない議員の部屋になりました。開会日に副議長選挙が行われました。2年に1回の議長選挙、副議長選挙では「暫時休憩」にはいるのですが、今回はすぐに「議場閉鎖」「投票」が行われ、清水信弘議員が副議長に選ばれました。どこで相談していたのでしょうか?

(市議会議員 阪本久代)

無料法律相談

日時 3月7日(金) 午後3時~8時
場所 橋本市民会館2F 予約が必要です。
富岡清彦 33-0796・阪本久代 36-1493
高本勝次 26-7533